

2-3 地域志向教育プログラム



(1) 地域志向教育プログラムについて

茨城大学では、地域を多角的に捉えながら地域課題と向き合い、学部1年次から大学院まで一貫して取り組める、学部横断型のアクティブ・ラーニングである「地域志向教育」を行います。

地域志向教育プログラムでは、地域志向科目や地域PBLへの取組みから、地域に頼られ地域を先導できる学生を育成し、さらには地域の課題解決と活性化を行うことを目的としています。育成する具体的な人材像は、「地域志向で協創力ある学生」、「現場志向で課題解決力ある学生」、「未来志向でリーダー力ある学生」です。

(2) 地域志向教育プログラムの修了証の要件

プログラムでは修了証を発行します。この修了証は、それを持った学生が地域に役立つ人材であることを、茨城大学が認定するものです。そのため、1)要件の8単位以上の修得に加え、2)地域PBL科目における報告書や、3)プログラム対象科目以外も含めた卒業年次前学期（夏季集中講義を含む）までの成績（*）も勘案して発行します。

卒業年次の後学期になりましたら、全学教育機構で審査のうえ卒業時に発行します。

* ①プログラム対象科目以外も含めたすべての科目について、通算GPAを用いた学部ごとの上位75%以上が要件です。かつ②履修したすべてのプログラム対象科目について、通算GPAを用いた学部ごとの上位50%以上に該当する場合は、「優秀」を記載した修了証を出します。

なお、3年次前学期（同上）までに修了要件の8単位以上を修得している3年次生には、「修了見込証明書」を発行することができます。これにより、当該教育プログラムを履修していることを就職活動等においてアピールすることができます。3年次後学期になりましたら、全学教育機構から手順などを連絡します。

(3) 地域志向教育プログラムの履修科目について

1) 基盤教育科目

1年次に必修科目の「茨城学」2単位を履修します。また、1年次以降に（「茨城学」以外の）「地域志向科目」から2単位以上を履修できます。ただし、後者については、修了証の要件に算入できるのは4単位までです。なお、「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学生が卒業に単位修得が必要な必修科目です。

2) 全学共通科目・専門科目

1年次～4年次に科目が配置されています。

全学共通科目である「5学部混合地域PBL科目」及び「地域協創PBL」あるいは学部の専門科目である「地域PBL科目」から2単位以上（2単位選択必修）を履修します。PBLには、問題解決を主目的として、学生の皆さんが主体となり実践するグループ学習（Problem-Based Learning）と、各チームが具体的な学修課題をたてて、プロジェクトを遂行しながら行う学習（Project-Based Learning）があり、本プログラムではいずれも地域課題等をテーマに行います。そして、これらに学部横断で取り組むのが「5学部混合地域PBL科目」で、さらに地域協創人材教育プログラム参加校（p.81参照）も加えて取り組むのが「地域協創PBL」です。また、学部の専門性をより用いて取り組むのが学部の「地域PBL科目」です。シラバスをよく読んで履修してください。

また、学部の専門科目である「地域志向科目」から2単位以上を履修できます。

地域志向教育プログラムの科目区分

科目の区分		科目名・授業題目名	必修・選択必修・選択	履修年次 **	備考
全学教育 機 構	基盤教育科目	「茨城学」*	2単位必修	1年次	
		地域志向科目	選択	1～4年次	修了要件に算入できるのは4単位まで
	全学共通科目	5学部混合地域PBL科目 「地域協創PBL」	2単位選択必修	1～4年次	「自由履修」の科目
学 部	専門科目	地域PBL科目		2～4年次	工学部は3年次から開始
		地域志向科目	選択	2～4年次	
修了要件単位数			合計8単位以上		

* 「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学部学生が卒業に単位修得が必要な必修科目です。

** 修了証の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（夏季集中講義を含む）までです。

地域志向教育プログラムのカリキュラムマップ

(Q:クォーター)

1年次	前学期	1Q 2Q 3Q	茨城学			5学部混合地域PBL					
	後学期	4Q									
2年次	前学期	1Q 2Q 3Q	「茨城学」以外の 基盤教育科目の地 域志向科目	学部の地域志向科目	地域協創PBL	学部の地域PBL*					
	後学期	4Q									
3年次	前学期	1Q 2Q 3Q									
	後学期	4Q									
4年次	前学期	1Q 2Q 3Q									
	後学期	4Q									

* 工学部の地域PBLは3年次から開始。

** 3年次前学期（夏季集中講義を含む）までに修了要件の8単位以上を修得している3年次生には、「修了見込証明書」を発行することができます。

*** 「修了証」の履修要件に算入できるのは4年次の前学期（同上）までの成績です。

(4) 基盤教育科目・全学共通科目における「地域志向科目」一覧

令和3年度に基盤教育科目・全学共通科目において開講される「地域志向科目」は下表のとおりです。「茨城学」はプログラム参加の有無にかかわらず、すべての学生が卒業のために単位修得が必要な必修科目です。基盤教育科目において、「茨城学」を除く「地域志向科目」で修了要件に算入できるのは4単位までです。開講授業科目一覧（別冊）では、「ナンバリングコード」に、「地域志向科目」に該当する授業には「COE」のコードが付されています。

基盤教育科目

科目区分	授業科目区分	授業題目	単位数	対象年次
茨城学	茨城学		2	1
異文化コミュニケーション	人間とコミュニケーション	Japanese Pop Culture B	1	2
異文化コミュニケーション	多文化共生	多文化共生	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修Ⅰ(ベトナムオンライン)	1	1
異文化コミュニケーション	多文化共生	短期海外研修Ⅱ(ベトナムオンライン)	1	1
ヒューマニティーズ	思想・文学	子どもと若者をめぐる文化	1	2
ヒューマニティーズ	思想・文学	茨城の方言と民俗	1	2
ヒューマニティーズ	思想・文学	日本人の死生観	1	2
ヒューマニティーズ	歴史・考古学	身近な考古学	1	1
ヒューマニティーズ	歴史・考古学	ヨーロッパの歴史 近代以降のドイツを中心に	1	1
ヒューマニティーズ	人間科学	現代民俗学	1	1
パフォーマンス&アート	ダンス・演劇文化	水戸芸術館で学ぶ音楽、演劇、美術	1	1
自然・環境と人間	物質と生命	J-PARC における中性子科学	1	2
自然・環境と人間	物質と生命	量子ビーム科学—食、生命、物質—	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	サステナビリティ学入門	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	霞ヶ浦と流域活動	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	霞ヶ浦の自然	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	自然災害と地域防災	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	身近な事例から最新の地域防災を考えるⅠ	1	1
自然・環境と人間	環境と人間	身近な事例から最新の地域防災を考えるⅡ	1	1
グローバル化と人間社会	経済・経営	財政と社会問題入門	1	1
グローバル化と人間社会	経済・経営	子どもの貧困問題を考える	1	1
グローバル化と人間社会	経済・経営	現代経済入門	1	1
グローバル化と人間社会	経済・経営	女性のキャリアとワーク・ライフ・バランス	1	1
グローバル化と人間社会	経済・経営	経済政策論入門	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	大学生と消費生活	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	ボランティア活動	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	多様性社会に関わるボランティア活動	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～	1	1
グローバル化と人間社会	公共社会	キャリアデザイン論	1	2
グローバル化と人間社会	公共社会	仕事を考える	1	1, 2
グローバル化と人間社会	公共社会	アグロエコロジー	1	2
グローバル化と人間社会	グローバル・ステージ	都市と地域の社会学	1	2

全学共通科目

科目名	学期	単位数	対象年次	備考
5 学部混合地域 PBL Ⅰ	前学期（集中講義）	2	1	自由履修
5 学部混合地域 PBL Ⅱ	前学期（集中講義）	2	2	自由履修
5 学部混合地域 PBL Ⅲ	前学期（集中講義）	2	1	自由履修
5 学部混合地域 PBL Ⅳ	前学期（集中講義）	2	1	自由履修 使用言語は英語
地域協創 PBL	前学期（集中講義）	2	2	自由履修